

令和2年 第2回 伊丹市教育委員会 臨時会 会議録

1. 日 時 令和2年(2020年)7月17日(金)午後3時00分～午後5時00分

2. 場 所 伊丹市立総合教育センター 2階 研修室

3. 出席者 <教育委員会>

教育長 木下 誠 教育委員 瀧川 光治

教育委員 江原 礼子 教育委員 川崎かおり

教育委員 太田 洋子

<事務局>

教育総務部長 馬場 一憲 教育政策課長 石田 亮一

学校教育部長 早崎 潤 教育政策課主任 中谷 克也

学校教育部副参事 廣重久美子 教育政策課主任 寺内 みこ

<教科用図書選定委員会>

伊丹市立伊丹高等学校教科用図書選定委員会委員 野崎 雅弘

伊丹市義務教育諸学校等教科用図書選定委員会委員長 田中 孝志

伊丹市義務教育諸学校等教科用図書選定委員会副委員長 佐藤 眞貴子

4. 欠席者 なし

5. 傍聴人 13人

6. 議 事

(1) 開会宣言 木下教育長(午後3時00分)

(2) 日程報告 木下教育長より次のとおり会議を進める旨の発議があり、全委員はこれを了承。

日程第 1 議案第32号の審議

日程第 2 議案第33号の審議

(3) 議案第32号の審議(日程第1)

木下教育長より「議案第32号 令和3年度使用伊丹市立伊丹高等学校教科用図書の採択について」を議題とする旨の発議の後、「伊丹市立伊丹高等学校教科用図書選定委員会の答申に基づき、教科用図書を採択しようとするものです。」との説明がなされ、学校教育部長より補足説明をした後、選定委員会の野崎委員長より調査結果について参考意見が述べられ、質疑応答の後、全委員一致で、「議案第32号」を可決。

◎ 調査研究の方針

「令和3（2021）年度使用伊丹市立学校教科用図書採択方針」に基づき、中立的な立場で調査研究を行い、答申することとした。

◎ 令和3年度使用教科用図書調査研究の観点

- ① 学習指導要領の趣旨に従い、伊丹市立伊丹高等学校における興味・関心、意欲、適性、能力等を十分考慮し、教育課程実施上最適であるものを選定する
- ② 教科ごとに教科書の記述内容の研究・調査を実施し、さらに地域社会等を考慮し、総合的見地から選定する
- ③ 各教科から推薦のあった教科書を、伊丹市立伊丹高等学校教科用図書選定委員会において再検討を加え、公正を期す

◎ 答申の内容

第1学年の外国語、第2学年の外国語について採択替えを行い、その他の教科については現行の教科書を継続使用したいとの説明がなされた。

質疑応答

江原委員 教科書の選定にあたって、今子どもたちに求められている力の育成に向けて、分かりやすくご説明いただいた。少し発展的な部分でご質問させていただくが、選定理由の欄に「生徒の多様な進路に対応した内容である。」という記載がある。市立伊丹高校の生徒は、どのような進路を選ばれているのか教えていただきたい。

野崎委員長 商業科においては、近年4年生大学を希望する生徒も増えてきた。本年3月に卒業した商業科の生徒は、4年生大学が18名、短期大学が2名、医療系の専門学校が2名、専門学校が13名、就職が若干名であり、進学を希望する生徒が増えているという状況である。

木下教育長 市立伊丹高校の特色化・活性化推進委員会の際に、学校の重点目標として探求力と自己教育力の育成、グローバル人材の育成をあげられており、それらの達成に向けた議論が選定委員会の中でなされていればお聞かせいただきたい。

野崎委員長 本校は現在、個々の教員の授業力向上に力を入れている。そのための取組として、昨年度に保護者や地域の方、小中学校の教員の方に日ごろの授業の様子を見ていただく「授業公開週間」を始めた。その中で研修会も実施し、教員の授業力向上を図っている。

また、今年度は特に授業におけるICTの活用をメインテーマにしており、板書や教員の説明だけの授業ではなくICTを活用した分かりやすい授業の展開を目指した授業力向上週間を設けている。

木下教育長 新しい入試制度が始まるということも見据えた選定であると理解している。

(4) 議案第33号の審議（日程第2）

木下教育長より「議案第33号 令和3年度使用伊丹市義務教育諸学校等教科用図書の採択について」を議題とする旨の発議の後、「伊丹市義務教育諸学校等教科用図書選定委員会の答申に基づき、教科用図書を採択しようとするものです。」との説明がなされ、学校教育部長より補足説明をした後、選定委員会の田中委員長及び佐藤副委員長より調査結果について参考意見が述べられ、質疑応答の後、全委員一致で、「議案第33号」を可決。

◎ 調査研究の方針

「令和3（2021）年度使用伊丹市立学校教科用図書の採択方針」に基づき、採択替えのできる中学校教科用図書については綿密周到な調査研究を行い答申することとし、特別支援学級及び特別支援学校教科用図書（学校教育法附則第9条の規定による教科用図書）について、各学級・学校の実情に応じて調査研究を行い、答申することとした。

◎ 令和3年度使用教科用図書調査研究の観点

- ① 客観的に検討し、各教科用図書の特色を公平に記述すること
- ② 基礎的・基本的な内容の確実な定着が図られるような工夫があること
- ③ 自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考える力を培う内容になっていること
- ④ 学んだことを、実際の社会や生活に生かすことができるような工夫があること
- ⑤ 児童生徒の生活体験や興味・関心に適応するとともに、多様な考え方や個人差に応じて活用できる幅があること
- ⑥ 系統的発展が考慮されており、他の教科との関連がよく考えられていること
- ⑦ 指導内容及び組織排列・分量が適切であること
- ⑧ 男女共生の視点からみて適切であること
- ⑨ 表現、さし絵、資料、取り扱う題材等が適切であること
- ⑩ 新出文字、用語等の配置の工夫がなされ、文字の大きさ、行間及び書体が適切であること

◎ 令和3年度使用学校教育法附則第9条による一般図書調査研究の観点

- ① 系統的に編集されており、各教科の主たる教材として、各教科の目標達成に適したものであること
- ② 上学年で使用することになる教科書との関連性があること
- ③ 児童生徒の障害の種類・程度・能力・特性に応じたふさわしい内容（文字、表現、挿絵、題材等）であること
 - ア 知的機能に障がいのある児童生徒にも理解しやすく、ねらいのはっきりした内容であること
 - イ 集中力の乏しい児童生徒にも、理解しやすい文章や挿絵であること
 - ウ 情緒に障がいのある児童生徒が落ち着いて楽しめる構成、内容であること
 - エ 肢体不自由の児童生徒が取り扱いやすく、かつ、破損しにくい紙質、判型、装丁であること
 - オ 視力や視機能に障がいのある児童生徒にとって、文字や絵の大きさ、行間の広さ、色彩などが認識しやすいものであること
 - カ 聴覚に障がいのある児童生徒が、視覚によって言語発達を促すために役立つ内容であること
- ④ 基本的な生活習慣が身につく内容であること
- ⑤ 児童生徒の生活経験を広げ、興味・関心を喚起する内容であること
- ⑥ 児童生徒の主体的な活動を促す内容であること
- ⑦ 教科書無償給与予算の関係から、価格が妥当と考えられること

◎ 答申の内容

中学校教科用図書について、上記の観点に基づき調査研究がされており、別紙に掲示された教科書につき、選定委員会所見として、下記に記した教科書を「採択することがふさわしいと判断する。」との報告がされた。

<選定委員会所見>

- | | |
|----------|--------------------|
| ① 国語（国語） | 「東京書籍」の継続使用 |
| （書写） | 「光村図書出版」の継続使用 |
| ② 社会（地理） | 「帝国書院」の継続使用 |
| （地図） | 「帝国書院」の継続使用 |
| （歴史） | 「東京書籍」の継続使用 |
| （公民） | 「日本文教出版」の継続使用 |
| ③ 数学 | 「東京書籍」から「啓林館」へ採択替え |

- | | |
|------------|--------------------|
| ④ 理科 | 「啓林館」の継続使用 |
| ⑤ 音楽 | 「教育芸術社」の継続使用 |
| ⑥ 美術 | 「日本文教出版」の継続使用 |
| ⑦ 技術 | 「開隆堂」から「東京書籍」へ採択替え |
| ⑧ 家庭 | 「開隆堂」の継続使用 |
| ⑨ 保健体育 | 「大日本図書」の継続使用 |
| ⑩ 英語 | 「三省堂」の継続使用 |
| ⑪ 特別の教科 道徳 | 「東京書籍」の継続使用 |

次に、特別支援学級の教科書について、上記の観点に基づき調査研究がされており、別紙に掲示された教科書につき、選定委員会所見として、「特別支援学級に関する調査委員会の調査研究結果が適切なものであると認め、令和3年度使用教科用図書として採択することがふさわしいと判断する。」との報告がされた。

さらに、特別支援学校の教科書について、上記の観点に基づき調査研究がされたおり、別紙に掲示された教科書につき、選定委員会所見として「特別支援学校（小学部、中学部、高等部）に関する調査委員会の調査研究結果が適切なものであると認め、令和3年度使用教科用図書として採択することがふさわしいと判断する。」との報告がされた。

質疑応答

（国語の教科書、書写の教科書について）

江原委員 委員長のご説明をお聞きして、学習の流れがスムーズだということを理解した。書写については、光村図書の98ページにユニバーサルデザイン書体が紹介されていて、学校の方向性にマッチしていると感じた。

木下教育長 国語については、東京書籍を継続でということだが、全国学力・学習状況調査の結果から、本市の生徒は思考力と表現力に課題があることが分かっている。そういうことを踏まえたうえで採択替えしないとされたお考えをお聞きしたい。

田中委員長 教科書を実際に見ていただいたが、「学びの扉」のページにアニメが用いられていて、生徒の興味を引き付けて主体的な学びにつながる工夫がされている。また、本編の後ろにある「学びを支える言葉の力」へのつながりもスムーズであり、生徒に力を付ける丁寧な手順が踏まれている。継続使用ということで教材研究の蓄積が期待され、

新しい教科書をしっかりと活用し、生徒の学力向上が図れるものと期待している。

太田委員 東京書籍は、今までと同じ作品が入っていて教員が使用しやすいというメリットがある。しかし、資料やグラフを見て論説的に答える取組が他の教科書に比べて少ないと感じるが、このことについての議論がなされていればお聞かせいただきたい。

田中委員長 議論はなかったが、指導する側の丁寧な取組に期待するところである。

(社会の教科書について)

江原委員 地理について。本市の生徒は、グラフや図表からデータを読み取ることに苦勞しており、資料が見やすく説明が分かりやすいという視点は重要だと思っている。

田中委員長 おっしゃっていただいたように、特に地理においては、写真や地図、図表が果たす役割が大きい。

太田委員 今後タブレット端末等を活用した授業を進めていくことを考えたときに、数学や理科、技術・家庭科においては調査結果でQRコードについて触れられているが、他の教科では触れられていない。議論はされたか。

田中委員長 議論にならなかったが、今後議論する必要があると感じている。

太田委員 実際にQRコードを読み込んでみたところ、帝国書院の地理はデジタル教科書と同じぐらい動画が多くてよかった。東京書籍の歴史も同様で、やはりこれからの時代はデジタル分野が必須になってくると思った。また、SDGsを取り上げている教科書がとても多く、本市の取組はまだまだこれからではあるが、「持続可能な」という観点の取組の必要性を改めて学ばせていただいた。

田中委員長 文系の科目においてもデジタルに対する意識を高めていきたいと思う。

川崎委員 帝国書院の地理の51ページ、雨温図のところで、写真がとても綺麗でいいと思った。こういった写真等をICTで確認することで学びを深められると思う。また、雨温図は必ずと言っていいほどテストにも出題されると思うが、教科書において小さい表記だと子どもはあまり重要でないと認識するので、重要度に応じた表記の大きさも大事だと思った。

(数学の教科書、理科の教科書について)

太田委員 数学の教科書を全て見せていただいて、啓林館の教科書が適していると思った。初めにノートの書き方の説明があったり、巻末の「学びのあしあと」で振り返りができたり、比例の単元では線香を燃やす動画があったり、QRコードが効果的に使われていたり、様々な工夫が見られた。理科においても図の写真が鮮明で見やすく、章ごとに力試し問題があったり、防災ラボがあったり、とてもいいと思う。理科は日常生活との関連性が大事だと思うので、身近なところから学んだことを日常生活に活かすという視点もいいと思う。

木下教育長 調査結果については妥当だと思う。東京書籍は、目標の部分の色使いをはじめ、見やすいと思った。本市の状況として、中学校の数学は、全国学力・学習状況調査において一定の成果が表れ始めており、このようなタイミングで違う教科書を選定されることについて、どのような議論がなされたか教えていただきたい。

田中委員長 何を学ぶかという基本のもとに、今後はどのように学ぶかということ意識しなくてはならない。児童生徒が自分の考えを他者に伝えて話し合うという活動が啓林館にはたくさん設けられており、深い学びの助けになるものと期待している。特に課題がある文章問題については、一朝一夕でできるようにはならないので、日々の授業においてどのように学ぶかということ意識した丁寧な取組がなされることを期待している。

(音楽の教科書、美術の教科書、保健体育の教科書、技術・家庭の教科書について)

太田委員 技術は採択替えていいと思う。東京書籍のプログラミング教育に関する部分を重点的に見せていただいて、小学校の学びとのつながりや教員の教えやすさという点で優れていると思った。家庭科はご説明いただいたとおりで、同じ発行者でも教科によって評価が異なるということも調査結果を見て感じた。美術の日本教出版は、写真がとてもきれいでインパクトがある。QRコードで360度回転させて見ることができる点もいい。

(英語の教科書について)

江原委員 初めに教科書を見たとき、東京書籍は文法に関する説明が丁寧で分かりやすいと感じており、今ご説明いただいたように言語活動の充実や学び直しができるという点で三省堂の継続使用に納得した。

木下教育長 英語はやりとりする力が重要だと思う。小学校では開隆堂出版を採択しており、小学校との接続の部分で三省堂が適していると書か

れているが、開隆堂ではなく三省堂を選定された理由を教えてください。
だきたい。

田中委員長 小学校と中学校で大きな違いがあると生徒は動揺するのではない
かという議論がなされたが、調査が進むにつれて違う発行者でも支
障はないという意見が出た。三省堂は小学校での既習単語が掲載さ
れているという点でも肯定的な意見が出た。

木下教育長 小学校で使用している教科書と同じ発行者の方が当然に接続は容
易だと思って質問させていただいた。

田中委員長 次の小学校の採択替えのときに再度議論を深めるべきことだと思
う。

(道徳の教科書について)

江原委員 光村出版と日本文教出版の調査結果に「いじめ問題の教材の中に
内容的に心配なものが含まれている」という記載があるが、どの部
分を指しているのか教えてください。

田中委員長 「魚の涙」という教材である。メジナは狭い水槽に入ると必ず1
匹を仲間外れにして攻撃してしまうが、広い海ではこんなことは起
こらない。人間の世界も同じで、広い空の下、広い世界へ出てみよう
という話である。仲間外れにされた友人に寄り添う風景や、自分の
価値観にとらわれることの怖さが描かれていて良い教材である。し
かし、狭い世界でいじめはなくならないというふうに短絡的に考え
て誤った理解をしてしまうことを心配した。

川崎委員 道徳とは何かを調べる中で、自死された方の遺書を用いて授業を
した先生の話を見つけた。様々な反響があったようだが、中には涙
を流している生徒もいて、保護者の方も感銘を受けられたというこ
とで考えさせられる内容だと思った。

木下教育長 道徳が教科化された背景にいじめがある。いじめは悪いことだと
頭では理解しているが、なかなかなくならないという現状を踏まえ
て、児童生徒の心に届く授業をしなければならないと思う。

(特別支援学校の教科書について)

江原委員 図書を見ながら説明を聞かせていただいて、絵が鮮明であること
や仕掛け絵本の楽しさが分かり、児童生徒が親しみを持って学べる
ものを選定されていると感じた。選定委員会の選定結果を尊重した
いと思う。

木下教育長 伊丹特別支援学校の児童生徒の実態に対応した内容の図書である

と理解したらよいか。

佐藤副委員長

伊丹特別支援学校の児童生徒の障害の程度は様々である。教科書として使用する図書も児童生徒の実態に合ったものを選定したいと考えており、今回追加で選定したものは、重度の障害のある児童生徒用にと考えている。

木下教育長

I C Tの活用が有効だと言われているが、デジタル教科書についてはどのように考えておられるか。

佐藤副委員長

タブレットを用いた学習に取り組んでいる児童生徒もおり、今後検討していく必要があると考えている。

(5) 閉会宣言

木下教育長（午後5時00分）

上記のとおり会議の要旨を記録し、ここに署名押印する。

伊丹市教育長 木下 誠

伊丹市教育委員会委員 江原 礼子